

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	丹波市における快適な生活環境の実現（３）														
計画の期間	令和０２年度 ～ 令和０６年度（５年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	丹波市														
計画の目標	・持続可能な下水道運営に向けた効率的な下水道経営を実現するため、統廃合事業の促進を図る。 ・安心安全な暮らしを守るため、雨水対策事業の推進及び施設の長寿命化を図ると共に、未整備区域の整備促進を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1,710	A	1,710	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	新設予定の雨水ポンプ場（1箇所）を令和4年度末までに供用開始する			
	東部雨水ポンプ場の供用開始（1箇所） 供用開始箇所数	0箇所	1箇所	1箇所
2	污水处理施設統合予定箇所（１２箇所）の工事を令和６年度までに供用開始する			
	污水处理施設統合施設の供用開始（12箇所） 供用開始箇所数	0箇所	5箇所	12箇所
3	下水道未整備区域の整備予定箇所（2地区）の工事を令和６年度までに供用開始する			
	污水管渠施設の供用開始（２地区） 供用開始地区数	0地区	1地区	2地区

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

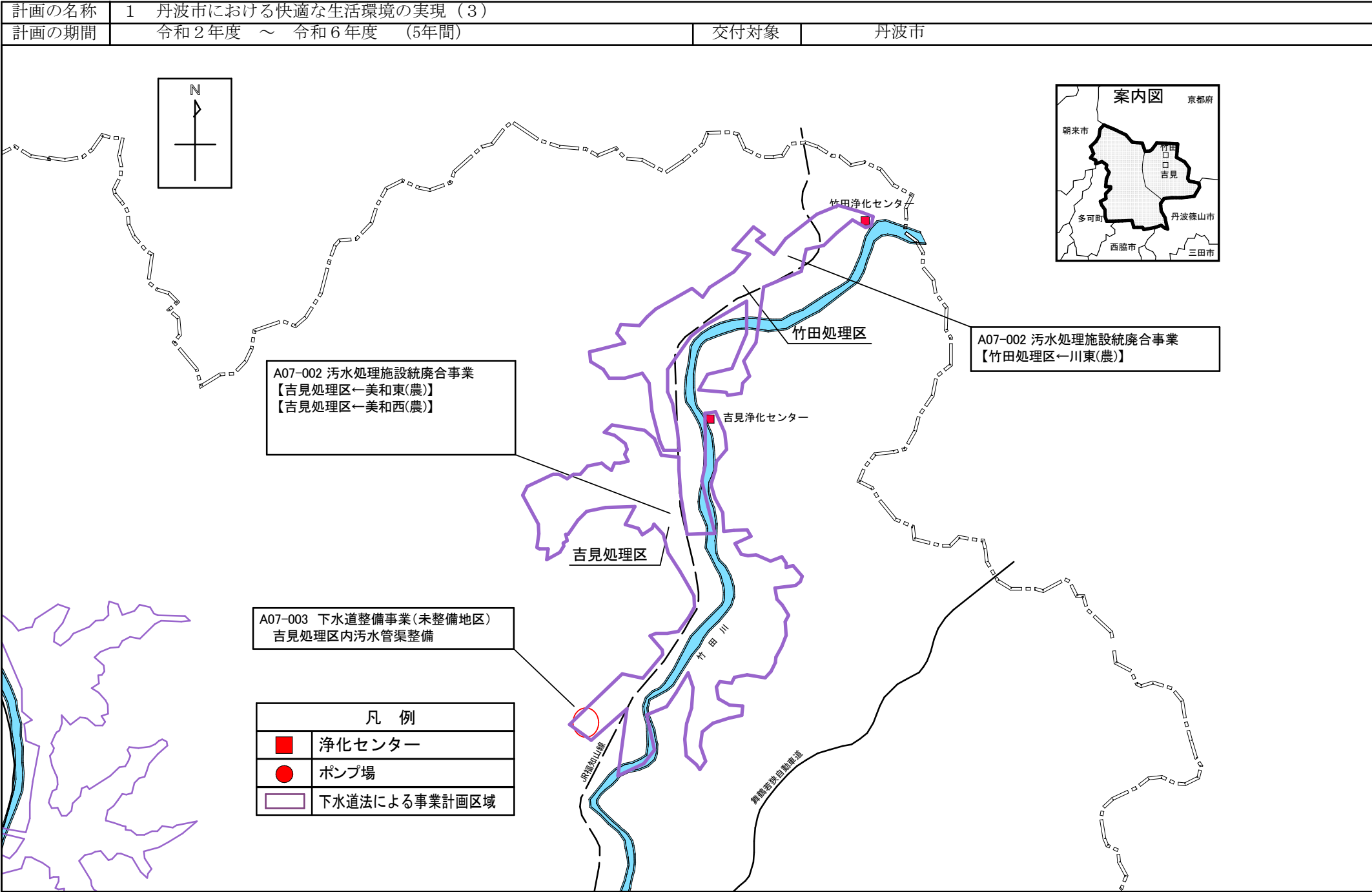
A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	丹波市	直接	丹波市	ポンプ 場	新設	東部排水区（氷上中央） 整備事業	雨水ポンプ場	丹波市	■	■	■	■	■	800		策定済	
	A07-002	下水道	一般	丹波市	直接	丹波市	管渠（ 汚水）	新設	污水处理施設統廃合事業	管渠新設、施設改築 12箇所	丹波市	■	■	■	■	■	870		策定済	
	A07-003	下水道	一般	丹波市	直接	丹波市	管渠（ 汚水）	新設	下水道整備事業（未整備 地区）	管渠整備 2地区	丹波市	■	■	■	■	■	40		策定済	
											小計							1,710		
											合計							1,710		

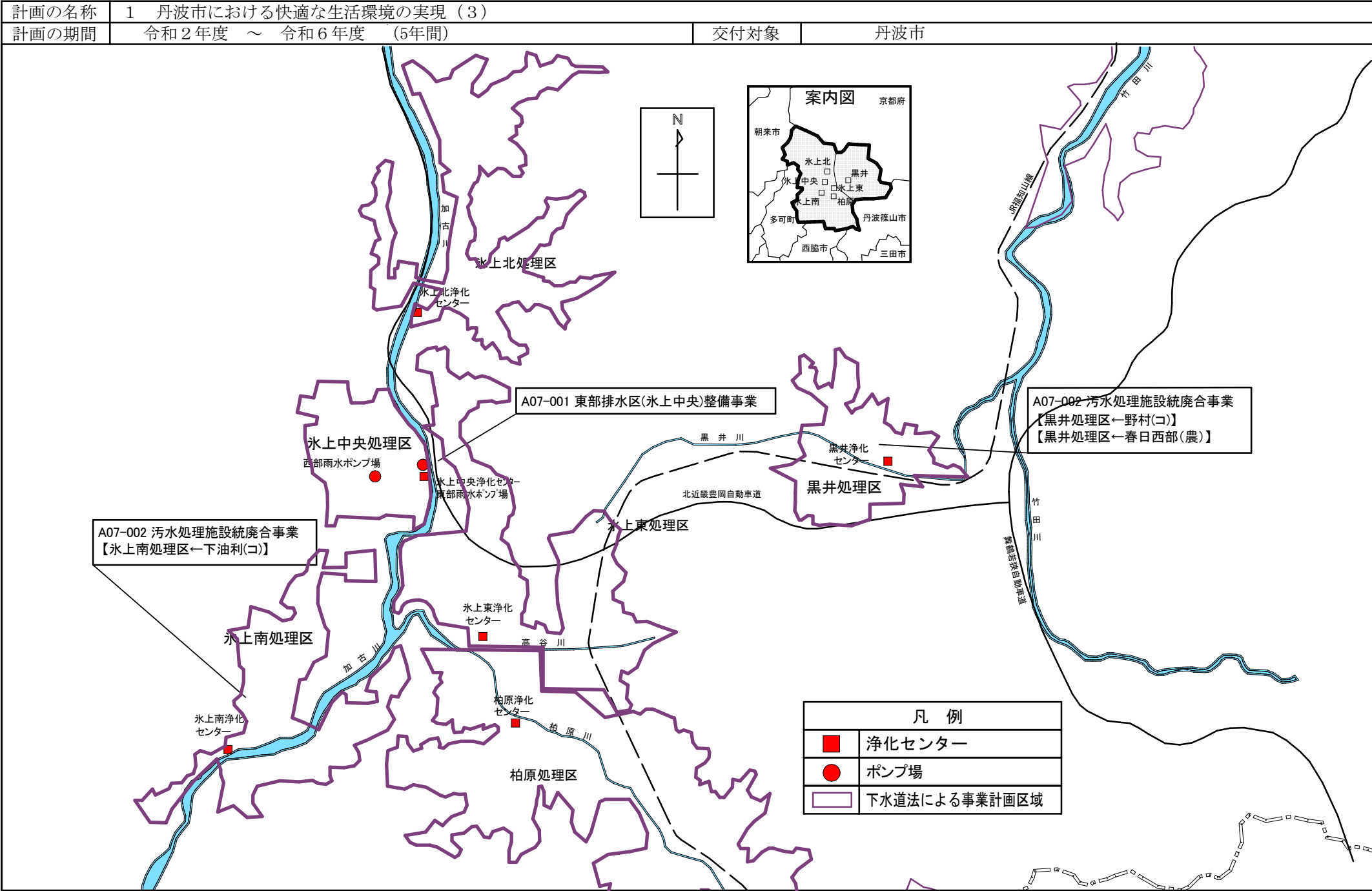
事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
丹波市上下水道部で実施	令和7年7月
	公表の方法
	丹波市ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	東部雨水ポンプ場の整備が完了し、浸水防止に大きく貢献している。 汚水処理施設の統廃合を進めることにより、ライフサイクルコストの低減を図ることができた。 未整備区域の整備を進め、快適な生活環境の実現が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
さらに統廃合を進め、下水道事業の合理化を図ることで経営基盤の強化を目指す。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	箇所		
	最 終 目標値	1箇所	
	最 終 実績値	1箇所	
2	箇所		
	最 終 目標値	12箇所	工事関係者への説明や調整に時間を要し、計画に遅れが生じた。
	最 終 実績値	6箇所	
3	地区		
	最 終 目標値	2地区	
	最 終 実績値	2地区	

(様式3) (参考図面1) 水の安全・安心基盤整備



(様式3) (参考図面2) 水の安全・安心基盤整備



(様式3) (参考図面3) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 丹波市における快適な生活環境の実現 (3)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	丹波市

